

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人佐伯市社会福祉協議会 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑
------	-------------------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成28年4月19日・20日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人佐伯市社会福祉協議会 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑	種 別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：会長 三浦政信	定員（利用人数）100名
所在地：大分県佐伯市弥生大字井崎1765番地 TEL：0972-46-2226	

④総評

◇評価の高い点

- 理念として「その人らしい生活を大切にし、快適な暮らしが出来るよう支援します」と明文化し理念に沿って運営方針や事業計画に反映している。中長期計画書の中に「地域福祉活動計画」を策定し地域ニーズの把握に努め、分析、検討、見直しを行い、重点目標を挙げ目標が達成できるように取り組んでいる。
- 管理者は、自らの役割や責任について職員や利用者、家族に対して広報紙などを通じて表明し、施設運営に取り組んでいる。特に質の向上に意欲的で業務の効率化や経営状況の改善に向けた取り組みが行われている。常に経営状況を把握し適正な人員の配置、経費の削減に取り組んでいる。ユニットケアを定着させ「家庭的な雰囲気の中での個別ケア」を目指し、24時間シートを用いて利用者一人ひとりの状況が把握できるようにしている。
- 理念に「わがままの言える家庭環境を目指し」と明示しており、理念を実践するために、3名の苦情相談員による利用者への要望の聴取や定期的な嗜好調査を行っている。要望のあった内容にそって、施設内での地域のラーメン店による食事の提供など利用者の満足度向上に向けての取り組みに余念がない。
- 全職員に対して3時間のあいだ目隠しをして身体の一部を拘束し、身体拘束をされる側の苦痛を体感する取り組みをしている。その経験を踏まえてリスクを抱えている利用者への対応について委員会で慎重に検討している。年1回認知症の研修を実施しており、部屋には写真や絵など馴染みのあるものを置いたり、4人部屋では落ち着くことができるように障子をモチーフにしたしきりを設置するなど過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。

◇改善を求められる点

- 今後はさらに客観的な基準に基づく全職員に対しての考課基準を設けて実施していくことを期待したい。
- サービス内容の説明について、利用者やご家族等の高齢化も予測されるため、字の大きさへの配慮や説明用の文書の検討など、理解しやすい工夫についての取り組みを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回で2回目の受審となりましたが、まだまだ改善すべき点が見つかり、当施設だけではなく、法人全体の課題として捉え、早急に改善に向けた取り組みを行っていく必要があります。

今後も、入苑者の方々の「その人らしい生活」を大切に、安心・安全な施設運営を目指して、マニュアルの見直し、職員のスキルアップ、サービスの向上に努めていきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）